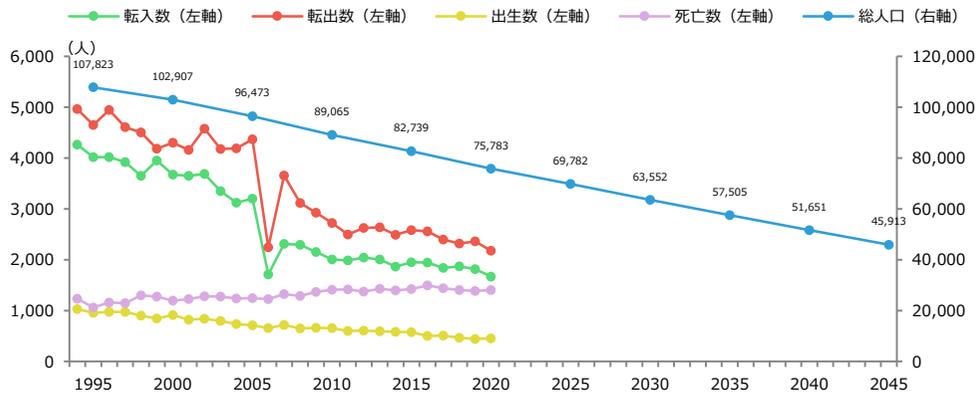


① 出生数・死亡数 / 転入数・転出数

人口マップ>人口増減 → 「グラフを表示」

・総人口の増減要因である、出生数・死亡数、転入数・転出数の推移を示しています。
 ・出生数と死亡数の推移から自然増減への対策、転出数・転入数の推移から社会増減への対策等、人口増減に対する政策検討の方向性を検討する基礎的な材料となります。



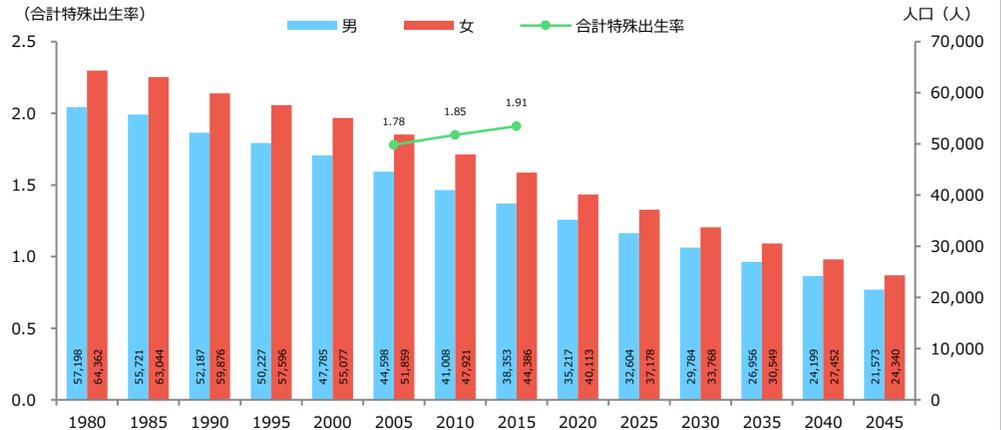
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

② 男女別人口・合計特殊出生率の推移

人口マップ>人口の自然増減 → 「合計特殊出生率と人口推移」

・男女別の人口推移と合計特殊出生率を示しています。
 ・合計特殊出生率は自然増減（出生数）に直結する指標であり、低下傾向にある場合には、婚姻率の向上、女性の地元定住促進、子育て支援等、政策面での対応が必要と考えられます。



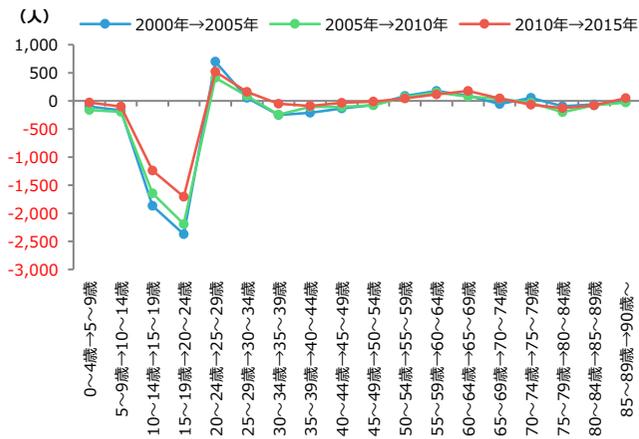
【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

③ 年齢階級別純移動数の時系列推移

人口マップ>人口の社会増減 → 「人口移動（グラフ分析）」

・社会増減の状況を年齢階級別に示しています。
 ・自地域の労働力に大きな影響を与える生産年齢層の社会移動の経年変化等を把握できます。



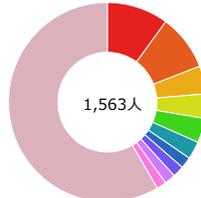
【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

④ 転入数・転出数の上位地域

人口マップ>人口の社会増減 → 「From-to（定住人口）」

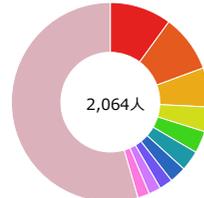
・直近時点で転入数・転出数の多い地域を示しています。
 ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。

転入数内訳（2020年）



- 1位 熊本県熊本中央区 (157人)
- 2位 熊本県熊本東区 (142人)
- 3位 熊本県上天草市 (71人)
- 4位 熊本県熊本北区 (62人)
- 5位 熊本県熊本南区 (62人)
- 6位 熊本県八代市 (45人)
- 7位 熊本県宇土市 (29人)
- 8位 熊本県熊本西区 (29人)
- 9位 熊本県宇城市 (28人)
- 10位 熊本県玉名市 (25人)
- その他 (913人)

転出数内訳（2020年）



- 1位 熊本県熊本中央区 (208人)
- 2位 熊本県熊本東区 (193人)
- 3位 熊本県熊本南区 (131人)
- 4位 熊本県熊本北区 (83人)
- 5位 熊本県上天草市 (74人)
- 6位 熊本県熊本西区 (68人)
- 7位 熊本県八代市 (56人)
- 8位 熊本県宇城市 (45人)
- 9位 熊本県合志市 (41人)
- 10位 福岡県福岡市東区 (40人)
- その他 (1,125人)

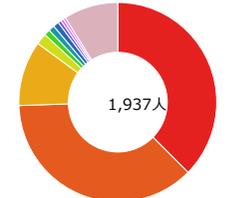
【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

⑤ 流入者数・流出者数の上位地域

まちづくりマップ>通勤通学人口 → 「地域間流動をグラフで見る」

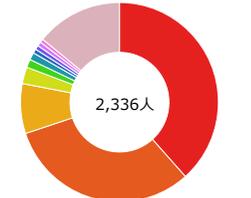
・直近時点で流入数・流出数の多い地域を示しています。
 ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。

流入者数内訳（2015年）



- 1位 熊本県上天草市 (725人)
- 2位 熊本県熊本北町 (717人)
- 3位 熊本県熊本市 (205人)
- 4位 熊本県宇城市 (35人)
- 5位 熊本県宇土市 (19人)
- 6位 福岡県福岡市 (19人)
- 7位 熊本県八代市 (18人)
- 8位 長崎県南島原市 (10人)
- 9位 宮崎県日南市 (9人)
- 10位 熊本県荒尾市 (8人)
- その他 (172人)

流出者数内訳（2015年）



- 1位 熊本県熊本北町 (897人)
- 2位 熊本県上天草市 (736人)
- 3位 熊本県熊本市 (189人)
- 4位 熊本県宇城市 (63人)
- 5位 熊本県八代市 (31人)
- 6位 福岡県福岡市 (28人)
- 7位 熊本県八代市 (16人)
- 8位 福岡県北九州市 (16人)
- 9位 鹿児島県出水市 (16人)
- 10位 愛媛県今治市 (14人)
- その他 (330人)

【出典】総務省「国勢調査」

① 事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → 「産業構造変化を分析」

・小売業全体の事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移を概観します。

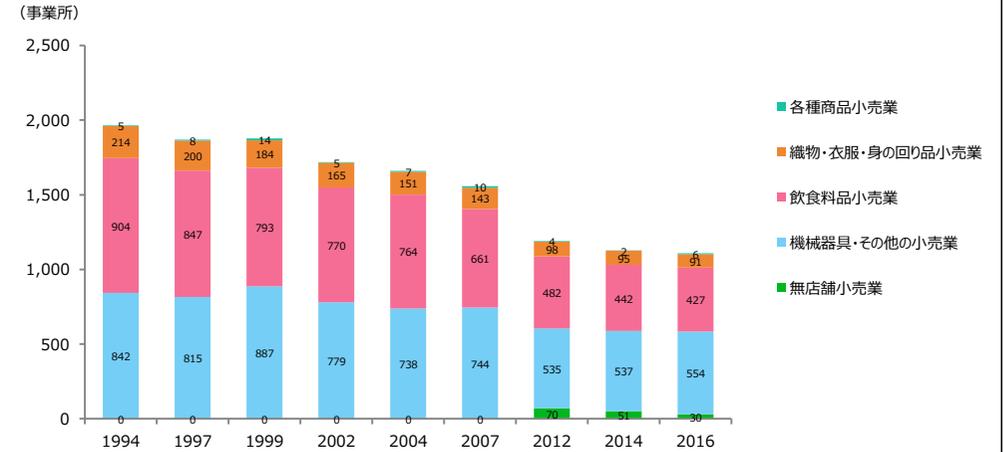


【出典】 経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」
 【注記】 2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間（表示年）の比較が行えない。

② 産業別小売業事業所数の変化

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → 「産業構造変化を分析」

・小売業の事業所数推移を産業中分類別に示しています。
 ・事業所数の多い産業の把握や各産業における事業所数の増加・減少傾向を概観できます。

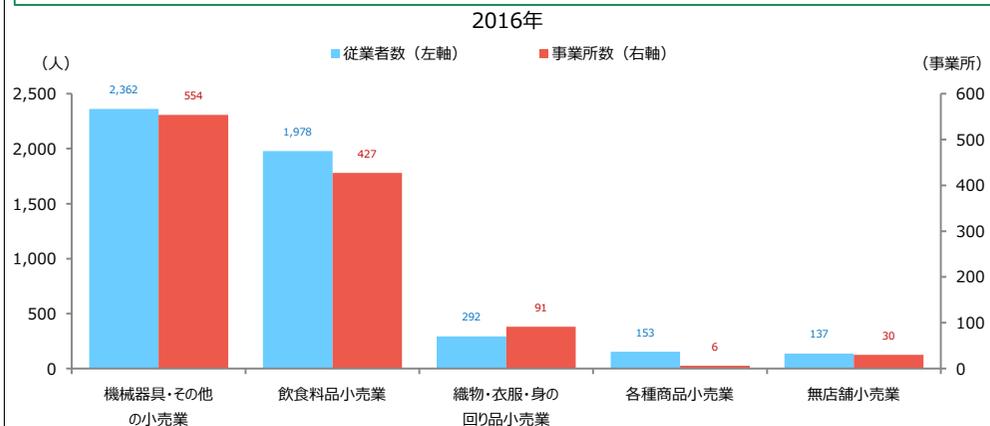


【出典】 経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」
 【注記】 2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間（表示年）の比較が行えない。

③ 産業中分類別従業者数・事業所数

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → (ダウンロードデータより作成)

・自地域小売業の産業中分類別従業者数および事業所数を概観します。

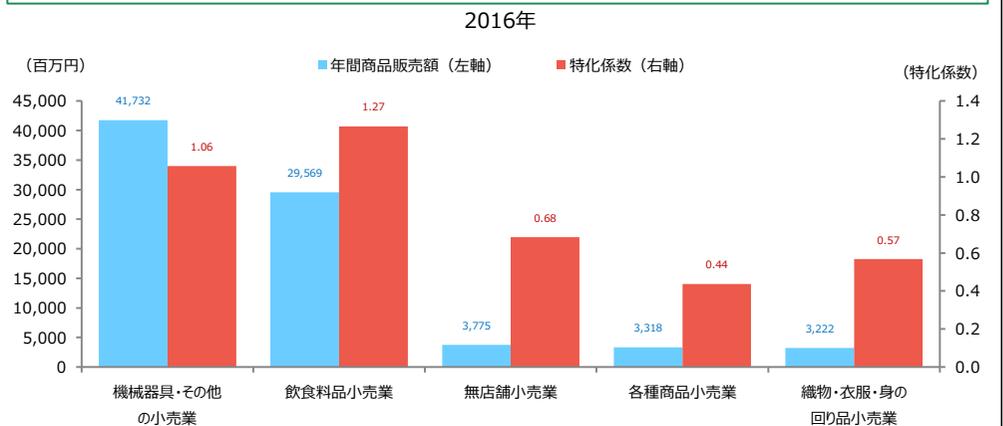


【出典】 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

④ 産業中分類別年間商品販売額

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → (ダウンロードデータより作成)

・産業中分類別の年間商品販売額の構成比から、自地域において販売額規模の大きな産業を概観します。
 ・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。

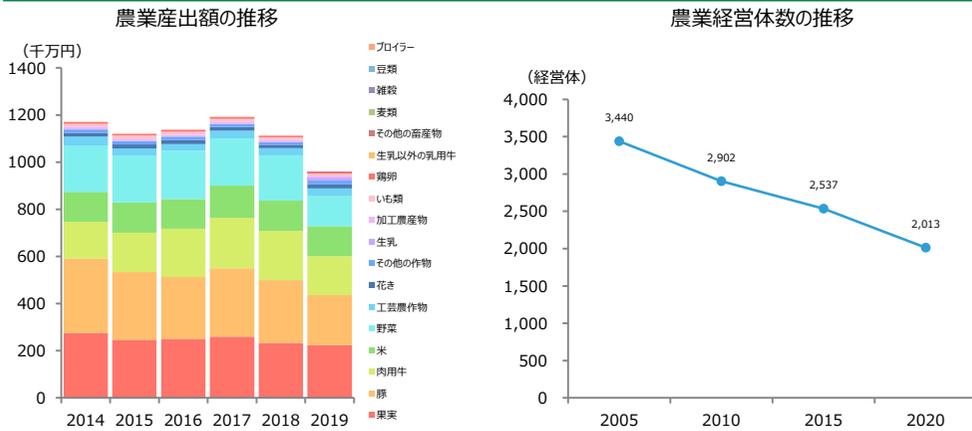


【出典】 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

① 農業産出額・農業経営体数の推移

産業構造マップ>農業>農業産出額 及び農地分析 → (ダウンロードデータより作成)

- ・農業産出額および農業経営体数の推移を表示しています。
- ・自地域における農業生産の拡大・縮小傾向を把握できます。



【出典】 農業産出額（都道府県単位） 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 農業産出額（市区町村単位） 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
 農業経営体数 農林水産省「農林業センサス」再編加工

② 品目別農業産出額

産業構造マップ>農業>農業産出額 → (ダウンロードデータより作成)

- ・品目別の農業産出額の構成比から、自地域において生産の大きな品目を概観します。
- ・産出額が大きく、かつ特化係数（自地域における品目Aの農業産出額構成比÷全国における品目Aの農業生産額構成比）も高い品目は、産出額・構成比の両面で特徴的な品目と言えます。



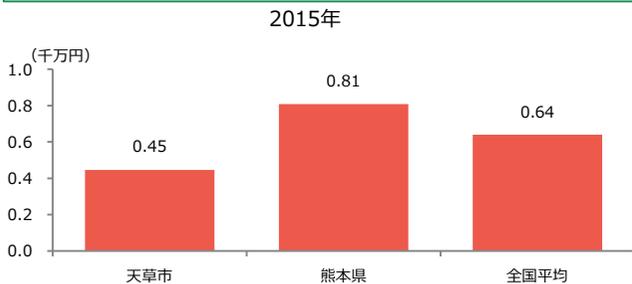
【出典】 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 市区町村単位 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

【注記】 「その他の畜産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「プロイラー」を減じた値を含む。

③ 経営体あたり農業産出額（地域間比較）

産業構造マップ>農業>農業産出額 → 「グラフを表示」

- ・経営体あたりの農業産出額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の農業の生産性の高低を概観できます。



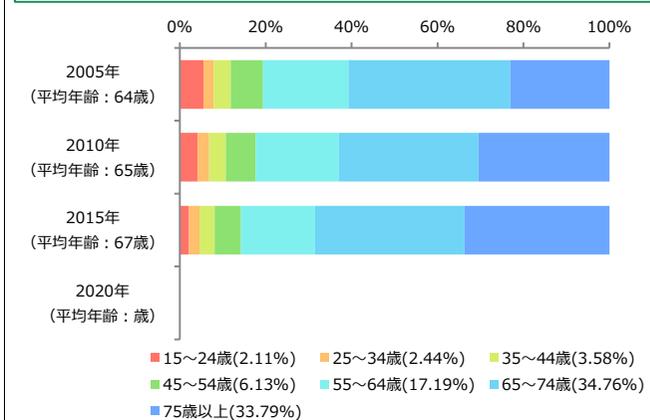
【出典】 農林水産省「農林業センサス」
 全国単位 農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」
 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 市区町村単位 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

【注記】 1経営体当たり農業産出額は、農業産出額を農業経営体数（家族経営体、組織経営体の合計）で除した試算値である。
 農業経営体には、販売なしの経営体を含む。

④ 年齢階級別農業就業者比率と平均年齢

産業構造マップ>農業>農業者分析 → (ダウンロードデータより作成)

- ・年齢階級別にみた農業就業者数を概観します。
- ・農業の担い手の高齢化等の状況を確認できます。

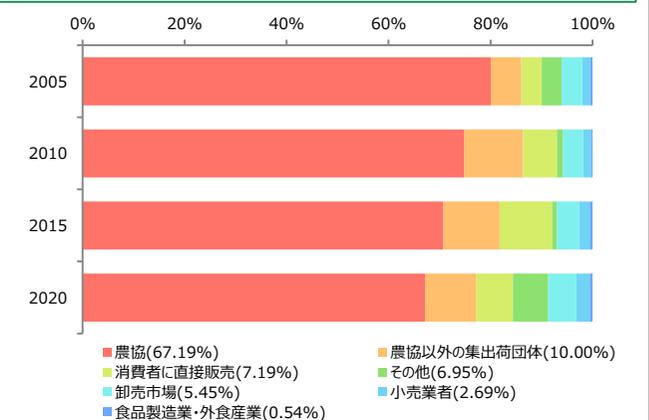


【出典】 農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】 農業就業人口：農業従事者のうち、農業を主として従事した世帯員
 凡例の数値は最新年の数値を指す。

⑤ 農産物の出荷先別経営体数割合の推移

産業構造マップ>農業>農業者分析 → (ダウンロードデータより作成)

- ・農作物の出荷先別にみた経営体の構成比を比較します。
- ・自地域の農産物がどこに出荷されているかを概観できます。

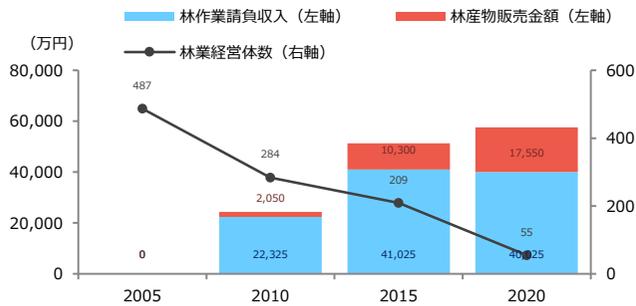


【出典】 農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。

① 林業総収入・林業経営体数の推移

産業構造マップ>林業>林業総収入 → (ダウンロードデータより作成)

- ・林業総収入と林業経営体数の推移を表示しています。
- ・林業の拡大・縮小傾向を、総収入と経営体数の変化から概観します。

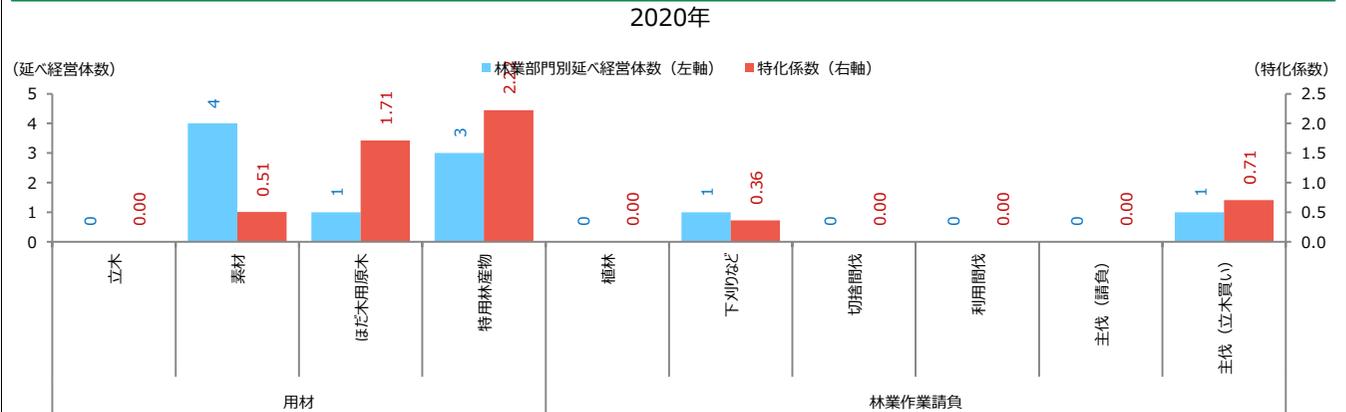


【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】林業総収入 = 林産物販売金額 + 林業作業請負収入
 林産物販売金額 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体)
 林業作業請負収入 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体)
 最上位層の中位数は 7 億円として推計。
 「林業作業請負収入」とは、農林業センサスにおける受託料金を指す。
 林業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。

② 林業部門別延べ経営体数

産業構造マップ>林業>林業総収入 → 「林業部門別延べ経営体数」→ (ダウンロードデータより作成)

- ・各林業部門の販売・請負を行った延べ経営体数を概観します。
- ・特化係数（自地域における部門Aの延べ経営体数比率 ÷ 全国における部門Aの延べ経営体比率）が 1 よりも大きな部門は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な部門といえます。

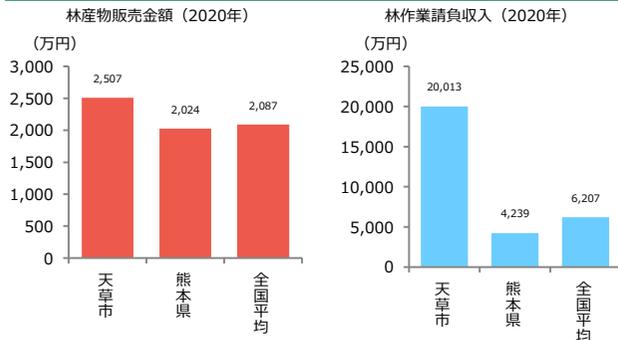


【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

③ 経営体あたり林業収入（地域間比較）

産業構造マップ>林業>林業総収入 → (ダウンロードデータより作成)

- ・経営体あたりの林産物販売金額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の生産性の高低を概観できます。

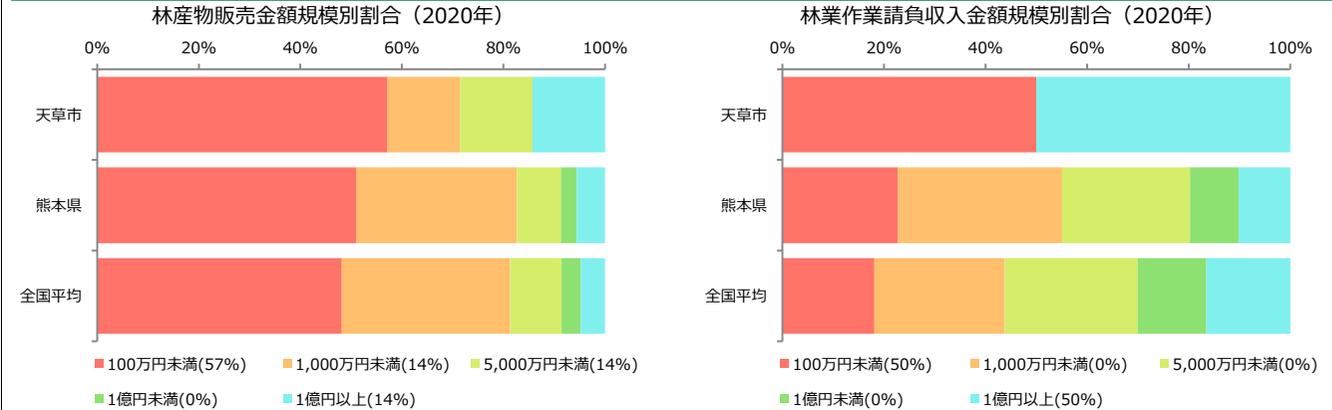


【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】林業総収入 = 林産物販売金額 + 林業作業請負収入
 林産物販売金額 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体)
 林業作業請負収入 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体)
 最上位層の中位数は 7 億円として推計。
 「林業作業請負収入」とは、農林業センサスにおける受託料金を指す。
 林業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。

④ 林産物販売金額帯別経営体割合および林業作業請負収入金額帯別経営体割合（地域間比較）

産業構造マップ>林業>林業総収入 → 「グラフを表示」

- ・林産物販売金額および林業作業請負収入金額についての経営体割合を地域間で比較します。
- ・自地域の林業経営体の経営規模を販売額の大きさの観点から概観できます。



【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】林業作業請負収入とは、農林業センサスにおける受託料金を指す。林業を請け負ったことにより得た収入をいい、諸経費、人件費を差し引く前の金額をいう。
 凡例の数値は選択地域の数値を指す。